

《湖北保健医療圏》 【病院 4 か所中→回答 4 か所、診療所 119 か所中→回答 98 か所】

①在宅医療に係る医療機能

i. 往診の状況

患者の求めに応じて患者宅に赴き診療を行う「往診」についての実施状況

区分	実施している	実施していない
病院	2 か所	2 か所
診療所	52 か所	46 か所

※実施病院：長浜市立湖北病院、セフィロト病院

◆往診を実施している診療所での、夜間・休日における患者家族からの連絡への対応について、平成 28 年度(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)の状況(52 診療所：複数回答)

区分	診療所
往診により対応	45 か所
医師間連携により他の医師に対応を依頼	7 か所
訪問看護ステーションによる対応	30 か所
連絡はなかった	4 か所
その他	4 か所

※その他 … 電話で対応、夜間・休日の対応はできないことを了解してもらっている 等

◆往診を実施していない診療所(46 診療所)での、今後の往診の対応への意向

区分	診療所
依頼があれば往診してもよい	6 か所
条件を整えば往診をしてもよい※	5 か所
将来にわたって往診をするつもりはない	32 か所

※可能となる条件：日勤帯であり、かつ、同行する看護師が確保できれば、
 スタッフの経験・時間的な余裕ができれば、
 スタッフ、時間が整えば 等

ii. 訪問診療の状況

居宅において療養を行っている患者であって通院が困難なものに対して、その同意を得て計画的な医学管理のもとに定期的に訪問して診療を行う「訪問診療」についての実施状況

区分	実施している	実施していない
病院	2 か所	2 か所
診療所	43 か所	54 か所

※実施病院：長浜市立湖北病院、セフィロト病院

◆訪問診療を実施している医療機関において、担当する医療従事者等の人数の合計

区分	回答施設数	医師(人)		看護職員(人)		その他(人)	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
病院	2 か所	8	3.6	4	0	0	0
診療所	43 か所	52	5.3	44	6.4	7	0

※その他 … 診療所：リハビリスタッフ、事務員 等

◆訪問診療を実施している医療機関において、対応可能な患者

区分	病院	診療所
筋萎縮性側索硬化症	1 か所	13 か所
パーキンソン病	1 か所	24 か所
多系統萎縮症	1 か所	14 か所
脊髄小脳変性症	1 か所	13 か所
小児患者	0 か所	9 か所
がん	1 か所	26 か所
気管切開	1 か所	19 か所
人工呼吸器	1 か所	10 か所
胃ろう造設者	2 か所	32 か所
その他	0 か所	7 か所

※その他 … 診療所：脳血管障害、在宅酸素療法、認知症、CVポート管理、バルーン管理、訪問リハビリ、褥瘡 等

◆訪問診療を実施していない診療所（54 診療所）での、今後の訪問診療の対応への意向

区分	診療所
条件が整えば訪問診療をしてもよい※	12 か所
将来にわたって訪問診療をするつもりはない	42 か所

※可能となる条件：看護師の増員、スタッフ充実、訪問看護ステーションの併設、スタッフの経験・時間的な余裕ができれば、月に1～2回の頻度ならば、小児在宅の診療所往診の必要性あれば、引きこもり等の受診が難しい精神科患者に回数を決めて 等

②在宅医療に係る届出の状況

i. 在宅療養支援病院の届出状況<病院>

区分	病院数
既に届け出ている	1 か所
届出したいと考えている	0 か所
届出は考えていない	3 か所

※届出病院：長浜市立湖北病院

ii. 在宅療養後方支援病院の届出状況<200床以上の病院>

区分	病院数
既に届け出ている	0 か所
届出したいと考えている	0 か所
届出は考えていない	2 か所

◆在宅患者の後方支援の状況<病院>

区分	病状悪化時等の対応について	レスパイト入院への対応について
入院のために病床を常に確保している	1 か所	0 か所
確保病床数（合計）	1 床	記載なし
病床が空いていれば受け入れる（応相談）	3 か所	4 か所
病床が空いており、自院の受診歴がある患者であれば受け入れる（応相談）	0 か所	0 か所
受け入れ不可	0 か所	0 か所
その他	0 か所	0 か所

iii. 在宅療養支援診療所の届出状況<診療所>

区分	診療所数
既に届け出ている	12 か所
届出したいと考えている	4 か所
届出は考えていない	81 か所

◆在宅療養支援診療所の届出を行わない理由（81 診療所：複数回答）

区分	診療所
自院の機能上、あまり関係がない	31 か所
外来が多忙なため往診・訪問が困難	16 か所
24 時間連絡を受ける医師または看護師を配置できない	38 か所
24 時間往診可能な体制を確保できない	43 か所
24 時間往診体制や在宅看取りの実績などの義務や基準に拘束されたくない	19 か所
その他	14 か所

※その他 … 24 時間訪問看護が充分に対応できない、
在宅療養支援診療所でなくても十分に在宅医療は可能と考えられるから、
施設での看取り対応のため人的余裕など 等

③在宅での看取りの状況

i. 平成 28 年度（H28.4～H29.3）の在宅での看取りの状況

区分	病院数	診療所数
看取った	2 か所	45 か所
看取りは行っていない 又は 看取りはなかった	2 か所	51 か所
（うち、看取る体制はあるが実績がなかった）	（1 か所）	（6 か所）

ii. 看取りがなかった理由（51 診療所：複数回答）

区分	診療所
体制はあるが、実績がなかった	6 か所
自院の機能上、あまり関係がない	28 か所
外来が多忙なため対応が困難	10 か所
看取りを行うに当たっては 24 時間体制が望ましいと考えるが、 24 時間対応可能な体制を確保できない	9 か所
多職種との連携が難しい	1 か所
その他	10 か所

※その他 … 関連の施設の看取りのみ実施している、企業の診療所のため 等

④診療所において、在宅医療を担うために必要な条件整備について

i. 医師間連携について（79 診療所の回答状況）

区分	実施の有無		必要度		
	いる 実施して	いない 実施して	思う 必要だと	いえない どちらとも	ない 必要では
必要なときだけ、決まった相手に依頼	18	54	31	26	7
主治医－副主治医制	3	64	13	33	15
必要なときだけ不特定の相手にその都度依頼	9	58	9	36	17
往診可能な医師のグループ対応制	4	67	26	29	13
地域医師会単位のネットワーク	4	66	24	26	14
専門医からのアドバイスが受けられる体制	12	54	44	13	9

※実施していない、または必要でない主な理由（自由記述）

- ・自身で24時間対応している
- ・医師不在時・緊急時に、病院の後方支援や訪問看護ステーションとの連携があれば十分可能であると考えられる
- ・単独で処理できる間、これ以後は病院と相談
- ・専門医のいる病院への紹介を行っている
- ・自院の体制が整っていないため
- ・へき地では依頼しようがない。広域すぎる
- ・親しい医師が居ない
- ・方法がないし、現状では何とかやれているので
- ・診療科の特性から不要と考える
- ・必要と感しないため。実施が困難
- ・テリトリーがオーバーラップして現実的でない
- ・現実的に無理、多忙のため、体調不良、高齢のため、よくわからないから 等

ii. 多職種連携について（76 診療所の回答状況）

区分	実施の有無		必要度		
	いる 実施して	いない 実施して	思う 必要だと	いえない どちらとも	ない 必要では
歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職、栄養士、ケアマネジャー、地域包括支援センター、行政(多職種)との患者や家族情報の共有	44	27	52	8	6
ICT（淡海あさがおネット）を活用した多職種との情報共有と連携	15	53	30	24	9
必要時、在宅療養者に対するカンファレンスの開催	23	44	40	18	7
多職種の専門性（役割、可能な行為等）の理解と連携	27	39	44	15	5

※実施していない、または必要でない主な理由（自由記述）

- ・連携は電話で十分対応可能なため、必要事項は電話で連絡している
- ・連絡帳で代用している
- ・対象者が少ないので
- ・時間がない、体制がない、高齢で対応出来ない
- ・診療科の特性から、あまり関係がない 等

iii. 病診連携について（77 診療所の回答状況）

区分	実施の有無		必要度		
	いる 実施して	いない 実施して	思う 必要だと	いえない どちらとも	ない 必要では
急変時、病状悪化時の入院	55	17	56	3	5
患者家族のレスパイト目的の入院	34	37	43	12	6
退院時カンファレンスへの参加	22	46	34	19	6
ICT（びわ湖メディカルネット）を活用した 情報共有	21	48	34	17	9

※実施していない、または必要でない主な理由（自由記述）

- ・カンファレンスの為の時間（午後の往診時間と重なる）を割くことが困難
- ・あさがおネットによる情報共有及び情報交換で、カンファレンス相応のことが出来る
と考えている
- ・急変時やレスパイト目的の入院等を実施しているが、病院の受け手が乏しい
- ・退院時の説明（サマリー）で十分対応できるので
- ・体制ができない、高齢で対応出来ない
- ・日曜日の入院や、夜間の紹介は不可だから
- ・あまり不便を感じていない
- ・今のところ考えていない
- ・診療科の特性から、不要と思う
- ・インターネットの脆弱性の問題のため
- ・紙面情報でまず充分 等